



中学生清掃ボランティア、夏祭りではご苦労様でした

ゆり北

第230号 (21期第6号)

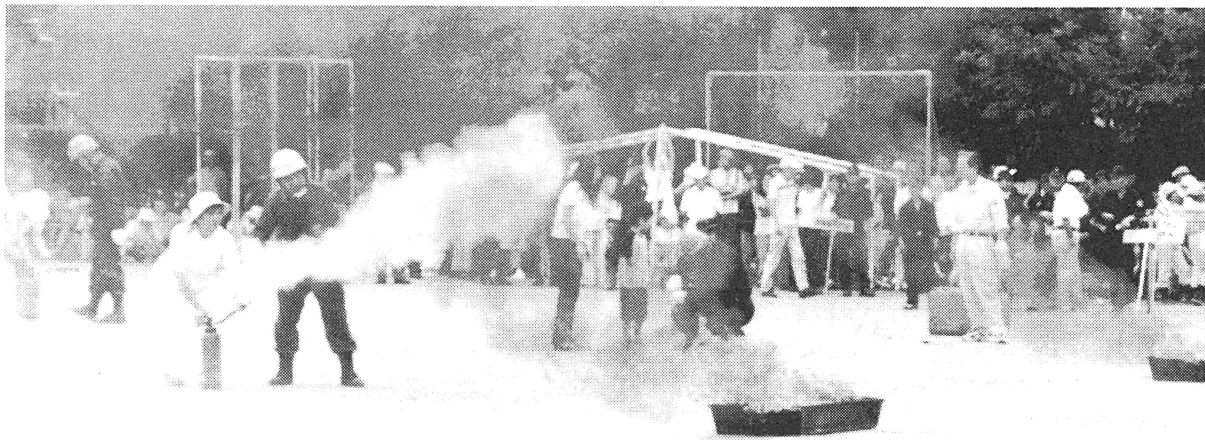
発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

TEL03 (3977) 0228番

発行責任者 塩 原 継 雄



初期消火訓練

大地震 その時あなたは何を！

板橋区下赤塚地区防災訓練行われる

さる八月三十一日板橋区の防災訓練が下赤塚小学校で行われ、当自治会からは子供一名を含み一三名が参加しました。一ノ号棟防災倉庫前に集合した参加者は避難経路を確認しながら会場まで移動しました。

各町会・自治会による避難完了報告、挨拶に続き、三班に分かれて初期消火、三角巾による応急救護、毛

布を用いた簡易担架作製と負傷者搬送、消防団による放水訓練を見学し講評で幕を閉じました。

今回参加して、震災の際おそらくブロック塀は壊れるであろうとか、ここで火事が起きたらこの道は通行できないであろうといった具体的なことが身近に感じられました。

都市直下型大地震が囁かれてからかなりの年月が経ち、神戸の震災の記憶も薄れがちではありますが、今年の、宮城県で震度六の地震は現実におきております。その事態に直面したとき「貴方が何をすべきか」考える良い機会です。

今回参加しなかった皆様もゆり北の防災訓練にはぜひご参加ください。防犯防災部一同、住民の防災意識の向上のため「貴方の参加」を心よりお待ちしております。

防犯防災部 今泉

ゆり北防災訓練

開催日 11月16日(日)
午前10時～11時30分
小雨決行
会場 板橋区立赤塚新町小学校校庭
訓練内容 初期消火、応急救護、炊き出し、
防災機器取扱
特記 防災用品抽選会、消火器、詰替幹旋

小学校の校庭から ロケットが飛んだ

雨が上がった九月一日(日)の夕方、板橋区立赤塚新町小学校の校庭で、白煙と共に小さなロケットが勢いよく飛んでいった。そして、落下したロケットを取りに、子ども達も達のお父さんが、バケツの水をロケットに入れて発射台にセットした後、自転車用の空気入れで空気を入れていくようである。そんなことで飛ぶのかと思っていると、子どもがワイヤーのレバーを引くと、目にも止まらぬ早さで発射して、五〇メートル位は飛んでいるようで、何事かと南門の外で見ていた通りすがりの人達は、驚いてあつげにとられている。ロケットを大事そうに抱えてきた子どもに聞いてみると、さっきまで教室でお父さんやお母さんと一緒



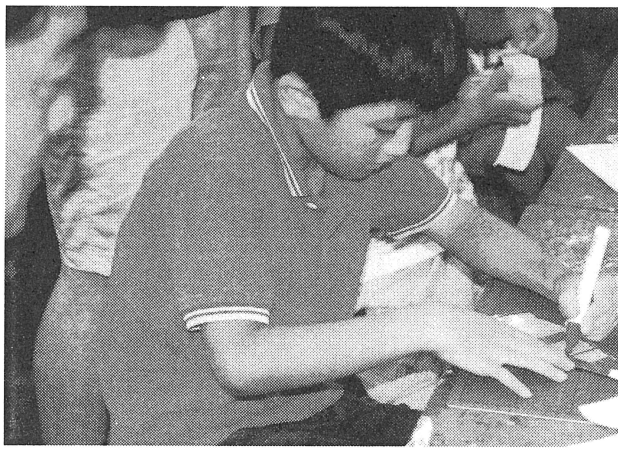
ロケットが出来上がって大喜びの参加者

になって工作していたそうで、ロケット本体の材料はCCレモンやファントなどの炭酸飲料の空きペット・ボトルだそうである。

板橋区立赤塚新町小学校父親の会「ジャオ・クラブ」では、スポーツ以外の新しい行事をとという会員の希望で、二年前に初めてペット・ボトル・ロケット工作教室を開催した。その時、自分達の作ったロケットが予想以上に飛ぶことに感動し、今回再び工作教室を開催させることになった。実際、この工作は小学校低学年では無理な時があり、ペット・ボトルの材料をホッチキスで接合する過程では大人の力が必要となる。そこで、日頃子どもと一緒に過ごすことの少ない父親に工作を通じて存在感を示してもらい、合わせて子どもと感動を共有してほしいというのが、工作教室の大きな目的となっている。

さて、ペット・ボトル・ロケット

は水を四〇〇cc、空気は自転車用空気入れで四〇回入れ、打ち上げ角度を六五度とすれば、ゆうに一〇〇メートルは飛ぶ。そのためには、間口六〇メートル、奥行一五〇メートル、高さ五〇メートルの場所が必要となる。人だけではなく、車や家につづからないように注意し、さらに電線や木に引っ掛からないようにし



て大勢の子ども達が楽しむには、昼間の光が丘公園では到底無理。そこで、水と空気を減らして、部外者の入らない校庭で飛ばすことになった。今、参加者の願いはただ一つ、荒川の河川敷かどこかで、思いっ切りロケットを飛ばしてみたい。

ジャオクラブ 工作担当 安倍



第一七回ゆり北文化展

開催日 十一月三日(日)

午後三時～六時(予定)

(二〇周年記念祝賀会閉会后に開催)

十一月二四日(月)

午前一〇時～午後三時

板橋区立赤塚新町小学校

体育館

出品展示

絵画、写真、書、工芸、

催事

手芸、生け花他

ワーク・シヨップ、ワイ

ン・コンサート、小野上

村物産展他

古布・古着回収のご案内

日時 十一月四日(日)

午前一〇時～午後三時

場所 一ノ号棟ピロティ

(一三号棟寄り)

詳細 後日掲示のポスターをご覧ください。

三三番地の新団地の名前が 決まりました

光が丘パークタウン

ゆりの木通り三三番街



始まりの掛け声も力強く！



息のあった寅舞

夏まつり決算報告

(1) 本部会計

収入

自治会分担金	450,000
商店会分担金	600,000
協賛金 (個人168件)	307,500
協賛金 (企業23件)	158,000
協賛金 (出店者5件)	22,000
祝金 (19件)	83,000
ビンゴカード売上げ	27,000
預金利子	64
前年度繰越金	810,056
合計	2,457,620

支出

ニューサウンズ	170,000
小野上温泉太鼓	70,000
招待出演者食事代	47,588
ビンゴゲームリース・賞品代	65,200
机・椅子リース代	201,600
電気工事費	178,500
音響資材費	4,463
装飾費	147,000
スタッフTシャツ	200,000
本部経費	48,142
来賓・実行委員飲食費	265,007
反省会	70,000
板橋区社会福祉協議会へ寄付	27,000
合計	1,494,500

差引次年度繰越

963,120

(2) お楽しみコーナー (自治会)

収入

お楽しみコーナー売上げ	252,734
リサイクル広場売上げ	15,895
合計	268,629

支出

お楽しみコーナー仕入れ	103,354
準備経費	11,355
写真経費	12,957
実行委員夕食代	76,146
ゆりの木会 (謝礼)	20,000
子ども実行委員反省会	7,114
合計	230,926

収益 (周年事業特別会計に繰入)

37,703

(3) 自治会おたのしみ券決算

発券	197,400
回収	168,200
回収率	85.20%

今年の夏まつりのステージもかわいいエンゼル保育園の子どもたちの寅舞いで始まりました。どの子も一所懸命、そして頭担当の子と、後足担当の子との息もピッタリ。とても楽しそうで、微笑ましく感じました。踊り終えた時の満足気な笑顔が印象的でした。また赤塚新町小のバトンクラブの皆さんも今年は人数が増えていたようで、演技は堂々たるもので、よくまあ器用にクルクル回せるものだ、不器用な私などはただ、ただ、感心。本当に子どもたちの度胸の良さには毎年驚かされます。

二日目の小野上温泉太鼓が鳴り響いた後のちょうど休憩時間にどしゃぶりの通り雨。おまけに雷まで登場して会場内をヒヤリとさせてくれましたが、これも二〇周年を祝うまつりに参加してくれたのかなと思うと忘れられない思い出のひとつになることでしょう。

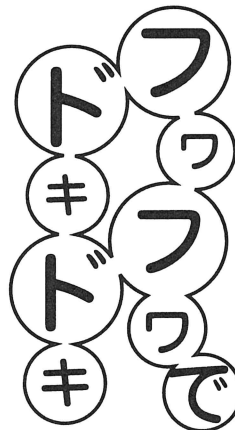
石橋 和代



ドームの外は待っている子ども達で大にぎわい

子ども達はフワフワドームが大好きです。同じ顔が三回、四回とやって来ます。そうなる一回一〇〇円は高いなと思いますが、リース代が高いのだと聞くとしかたありません。テスト運行で大人の私も童心に返り思い切り滑り込んだら肘を擦りむいてしまいました。ドームにはいると何故かはしゃぎたくなるので、意外に危険でもあります。そんな時に活躍するのが新町小の子ども実行委員たちです。お友達同士がぶつからない様に監視したり、幼児が怖がらない様に一緒に手をつないで遊んであげたりします。よく気がついて思

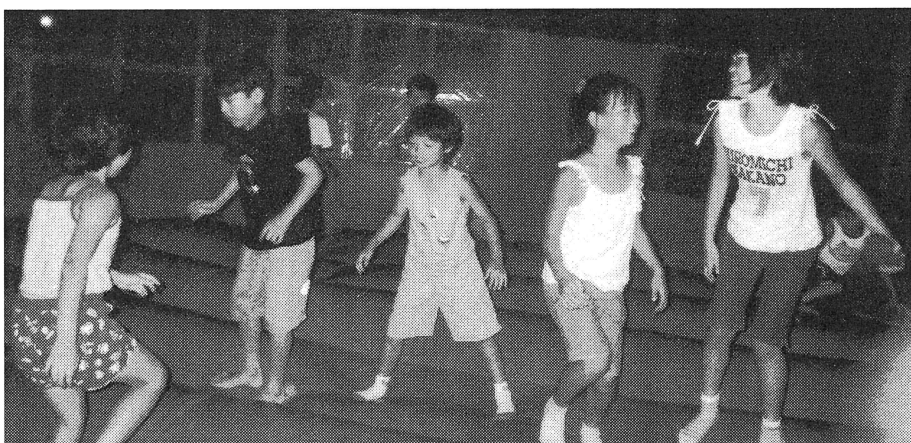
フワフワドームが倒れてしまうのでは、とヒヤヒヤしたのは中学生の女子七、八人が入った時です。もちろん小さい子達は危ないので、お姉さん達の貸し切り状態。一カ所に集まると重心が傾くので、お父さん達が押さえていました。3分後、「頭がクラクラする」と言いながらも満足げな表情で出てきました。中学生になってもやってみたいのですね。フワフワドームで悲しい思いをした小学生も何人かいました。ポケットの小銭が跳んだ拍子に飛び出し、無くなってしまうのです。捜した



いやりのある実行委員たちです。また並んでいる子ども達から券やお金を集めたり、タイマーをセットするのも仕事のひとつです。本当に良くやってくれたと思います。来年もまたよろしく頼みます。

今年も雨漏りするというアクシデントが起きました。太鼓の音かと思つたら雷でした。突然の大雨で、お祭りもフワフワドームも一時中断でした。ビショビショになったドーム内を皆で雑巾で拭き、再開しました。チームワークも抜群でした。

大戸真理



ドームの中は別世界